

羽ばたけ!羽島っ子

2月号

いちき串木野市立羽島小学校

公式ブログ好評配信中 <http://hashima.synapse-blog.jp/hashimasyo>

心を通い合わせたい

校長 藤田 柳生

私が昭和61年度に新規採用された時、学級通信や会議資料等はボールペン原紙（ボールペンでその紙に書くと、書いたところが穴が開いた状態になり、印刷機にかけるとその穴の開いたところからインクが出され紙に印刷される仕組み ガリ版とも呼んでいた）で書いていました。間違えると修正液で埋めないといけないので、できる限り間違えないようにしていたものでした。それから半年ぐらい経つと輪転機と呼ばれる印刷機が導入され、通常の紙に書いた物を自動的に映し出してくれる機械で間違えても消しゴム等で消すことができるので、非常に便利な機械でした。そうしていると、先輩の先生がNECのパソコンを購入し、資料も手書きからパソコン入力へと代わり、印刷もパソコンのインクジェットプリンターでカラーでも印刷機できるようになっていました。ただ、非常に高価で私はワープロを購入しそこから15年間ぐらいはそのワープロにお世話になり、平成の時代になって周りがもうワープロからパソコンに代わっている最後ぐらいにパソコンを購入しました。

このように、時代とともに非常に便利な機械が導入され、手書き同様様々なことができるようになっていきました。

同じように通信機器も同様です。ダイヤル式電話からプッシュホン、そして、ポケベル・PHS・折り畳み式携帯電話・スマホと時代とともに急激に変わってきました。（私の実家はいまだにダイヤル式の黒電話で停電の時でも使えるので非常に重宝しています）

通信機器の変容と同時にそれを使った通信手段も代わり、今ではその通信手段により犯罪に巻き込まれたり、いじめの温床になったりする負の側面も起こり始めました。補導の話合いが地域で行われた際、携帯電話により子ども達同士がつながっており、わざわざ暗がり集まっているということはないので、夜間補導は抑止力にもなるが、今大人が考えないといけないのはスマホ等の現状について学ぶべきだという意見も出されました。先日の小中合同の教育講演会では、警察の方の実際にあったスマホ等による事件の詳細が出され、そこまで進んでいる状況に驚かされたことでした。

そういった通信機器や通信手段の発達によって子ども達ばかりでなく、私たち大人の世界も様変わりしているような気がします。ラインやメッセージ機能というのは連絡を取り合う手段としては私も使用しています。参加の有無や集合場所等連絡を取り合うということに関しては、相手の時間を気にしておく必要はないので、自分でできる時間に送っておけば大丈夫というメリットがあります。

しかし、自分の考えや気持ちを表す手段としては一歩間違えると相手の心を傷つけたり、誤解を生じさせる結果ともなり得る場合があることも事実です。昔は手段としては手紙もそうで、相手の心を考え、書き終わっても読み返し、相手がどう考えるのか一番に考え再度せつかく書き終えたものを破り捨て新たに書いたりするものでした。

そういう「相手意識」が次第に欠如しているような気がしてなりません。便利になった反面心が通じなくなっているのではと危惧します。会社を休む際にメッセージで済ますことはいかなものかという番組もありました。送った本人は感じないかもしれませんが、送られた側はこういう大切なことをどうしてメッセージで送信？という気持ちなのではないでしょうか。子ども達だけでなく、その便利なツールの使い方を大人も考える時期に来ているのではと思います。

学校評価の結果より

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。保護者アンケート・児童アンケートから、学校として今後の取組の方向性が見えてきました。アンケートの主な結果は以下の通りです。

○2学期保護者アンケートより(全学年)

項目	達成率	1学期	増減
1 子どもは学校での学習がよく分かり、学力が向上した。	80.1	80.1	0
2 子どもは家庭学習を決められた時間、毎日していますか。	82.1	83.2	-1.0
3 子どもは進んで読書に励んでいますか。	73.0	74.5	-1.0
4 子どもは楽しく学校に登校していますか。	90.3	88.3	2.0
5 子どもはいじめなどせず、友達と仲良く過ごしていますか。	85.7	86.2	-0.5
6 子どもはあいさつがしっかりできていますか。	84.2	86.7	-2.6
7 子どもは毎食後の歯みがき等が習慣化されていますか。	77.0	77.0	0
8 家庭では、平日10時までには寝かせていますか。	75.0	78.1	-3.1
9 家庭では平日ノーゲームに取り組みましたか。	86.2	85.7	0.5
平均	84.2	85.0	-0.9

○2学期児童アンケートより(全学年)

項目	達成率	1学期	増減
1 学校の勉強がよく分かり、できるようになった。	85.4	87.8	-2.4
2 家庭学習が計画的にしっかりできた。	81.3	84.4	-3.1
3 多くの本を読むことができた。	73.6	77.8	-4.1
4 毎日楽しく学校に通えた。	90.4	91.7	-1.1
5 友だちにいじめをしないで仲良くできた。	88.9	87.3	1.6
6 あいさつがしっかりできた。	91.7	92.8	-1.1
7 食後の歯磨きがしっかりできた。	90.4	90.5	-0.1
8 平日は10時（低学年は9時30分）までには寝ていた。	72.4	78.0	-5.6
9 平日はノーゲームに取り組むことができた。	81.2	87.1	-5.9
平均	85.7	87.7	-2.0

- 家庭学習強調週間の記録からも10時までの就寝ができず、睡眠不足となっている児童が見受けられる平日の早寝（10時就寝）については家庭による差が見られた。平日のテレビ視聴や携帯端末を使用する時間が長い児童ほど就寝時刻が遅い傾向が分かる。家庭と連携しながら早寝をし、睡眠時間をしっかり取らせる必要がある。
- 読書の項目は昨年度、1学期に引き続き低い項目である。本と向き合うための読書指導の具体策（図書室の整備、校時表の工夫、読書週間や親子読書会の工夫）が必要である。家読については具体的な取組を計画する必要がある。図書室での本の貸し出しが影響すると考えられることから、子どもたちが読みたい本の整備、借りやすい仕組みや環境づくりを早急に準備する必要がある。

門松を作っていました。

お正月を迎えるにあたり、PTAの有志の方々、地域の高齢者クラブの方々の協力で門松を作っていました。PTAの方々には山へたけを切り出しに、高齢者クラブの方々には飾りをして頂き、おかげさまで見事な門松が出来上がりました。皆様のご協力には本当に感謝です。



車いすバスケットボール体験教室

車いすバスケットボールの体験学習を行いました。車いすに乗りながらバスケットボールをするという初めての経験でしたが、自分の思い通りにいかないことの連続でした。障害のあるなしに関わらず、一緒に楽しめるスポーツだということも分かったようです。障害者スポーツの魅力や理解を深めるとともに、障害を持つ人々への理解、バリアフリーなどについても関心を高めるきっかけになりました。



2月行事

- 4日(火) 新一年生体験入学
- 7日(金) バイク給食
- 8日(土) 土曜授業
- 13日(金) 保幼小連絡会
- 21日(金) 学校保健委員会
給食試食会

- 27日(木) 授業参観・学級PTA
家庭教育学級閉講式

